

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		サンクスラボ・アフタースクール原口町			公表日		令和7年2月28日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○		・支援の用途にあったスペースの確保や、そのスペースの約束事を支援の中で子ども達に示しております。 ・ワンフロアで子どもがのびのびと身体を動かせるように努めております。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		○		・個別サポートや家族支援ができるよう人数を配置しております。	配置基準を厳守して配置しております。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		・階段には手すりを設置しております。 ・ワンフロアを区切って部屋を用途で確保しております。	配慮が必要な個所に関しては、今後も継続して実施してまいります。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		・定期的に職員全体で掃除を行い、清潔な環境を維持しております。 ・子どもたちにも掃除の機会を設け、責任感を育てながら、職員が見守りを徹底しております。	今後も継続して実施してまいります。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		・子どもの情緒が不安定になった際、静養室などの個別空間を活用し、他の児童が干渉しない環境で話を聞いたり、クールダウンを行う工夫をしております。 ・静養室を確保しております。	配慮が必要な個所に関しては、今後も継続して実施してまいります。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○		・目標設定は職員間でしっかりと行い、全員で共有しております。 ・終礼や大きな行事後には振り返りの時間を設け、業務改善に活かせるよう、自己評価をして振り返りを行っております。	今後も継続して実施してまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		・定期的なアンケート結果に基づき、環境や支援内容の見直しを職員間で協議し、業務改善に活用しております。	今後も保護者様向けのアンケートを定期的に実施し、業務改善につなげてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		・適宜、朝礼、終礼の時間を確保し意見の交換を行っております。	今後もHP上でも公開させていただきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・本部による社内評価を実施しております。	第三者による外部評価については行っておりません。今後の検討課題とさせていただきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		・定期的に研修チームから研修のお知らせがあり、職員に対して任意参加を促しており、年内で必要とされる研修については、職員全体で取り組む体制が整っております。	社内研修の質向上に努め、職員の専門性を高める取り組みを継続して行ってまいります。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		支援プログラムの作成・公表を行っております。	今後HP上でも公開させていただきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		○		職員会議を行い、送迎時や家族支援などでこどもと保護者のニーズ等を把握し、計画作成しております。	今後もアセスメントの頻度を上げ、利用者様の状態や保護者様のニーズの変化把握に努め、個別支援計画書作成に活かしていくことを実施してまいります。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○		職員会議を行い共通認識のもと話し合いを行っております。	今後も継続して実施してまいります。	

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	児童発達支援管理責任者より職員に共有され、計画に沿って支援を行っております。	今後も継続して実施してまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	日常的な行動観察や記録を通じて、柔軟に子どもの状態を把握し、それを支援内容に活かしております。	今後も継続して実施してまいります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	・定期的に家族支援や地域連携活動を行っております。 ・保護者やご家族にアンケートを取り、必要に応じて実施しております。	今後も継続して実施してまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	活動プログラムの立案にあたり、職員間で情報を調べたり、意見を出し合い、チーム全体で協力して会議を行っております。会議後はチームで納得できる形で計画を決定しております。	今後もより多様な意見を取り入れながら、よりよい活動プログラムを立案できる体制を実施してまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	同じ活動が続かないよう、前回の活動内容や利用予定を定期的に振り返り、多様性を持たせる工夫を行っております。 ・毎日集団活動を計画的に組み込んでおります。	今後も継続して実施してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	・個別活動と集団活動の両方を準備し、子ども一人ひとりの状況やニーズに合わせた対応を行っております。 ・集団活動の割合が多いですが、IT活動は毎回個別に行っております。	今後も継続して実施してまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	朝礼や終礼などで毎日打ち合わせをし、チーム全体で連携して支援を行っております。	今後も継続して実施してまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	終礼を行い職員で共有と確認を毎日行っており、特記事項は記録に残し、項目ごとにまとめて共有などを行っております。	今後も継続して実施してまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	終礼を行い職員で共有と確認を毎日行っており、特記事項は記録に残し、項目ごとにまとめて共有などを行っております。	今後も継続して実施してまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	定期的に話し合っており、子どもの様子に合わせて作成しております。	今後も継続して実施してまいります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	活動が偏らないように毎日計画的に組み合わせしております。	今後も継続して実施していくと共に、サンクスラボアフタースクールの他拠点での良い取り組みなど参考にし、より豊富な支援内容を準備してまいります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	子ども会議を子どもたち主体で行い、責任もって係活動等を行う機会を設けております。	今後も継続して実施してまいります。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	児童発達支援管理責任者およびその利用者様の担当者が参加しております。	今後も継続して実施してまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	児童発達支援管理責任者およびその利用者様の担当者が参加しております。	今後も継続して実施してまいります。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	・学校の担任の先生と定期的に面談を行い、事業所での様子や学校での過ごし方について情報を共有しております。 ・双方向の情報共有を通じて、支援の質を高め、書類に整理して保管しております。 ・必要に応じて、学校との情報共有を行い、家庭の状況とも連携した支援を行っております。	今後も継続して実施してまいります。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	情報共有、および資料がある場合は、資料を基にした引継ぎを行っております。	今後、新たに利用となる利用者様には保護者様の同意のうえで、情報共有に取り組んでまいります。	

関係機関や保護者との連携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		実習に行かれる場合、実習先に挨拶に行き、情報の共有をするなど、より良い環境で自立できるような取り組みを行っております。	保護者様のニーズをくみ取った上で、今後も実施してまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じて、専門機関との情報共有や研修を実施しております。	当事業所における課題等を児童発達支援センター等に相談するなどの連携を検討いたします。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・他の放デイとの交流も行ってあります。(体育館でレクレーションなど) ・老人ホームなどでの交流も計画中でございます。	今後も継続して実施してまいります。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		毎月地域の事例検討会に参加させていただいております。	今後も積極的に参加してまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時や家庭面談の際に保護者と密に情報を共有し、子どもの状況や課題について共通理解を持つよう努めております。 ・定期的なコミュニケーションを通じて、支援内容を改善し、子どもの発達を支援しております。 ・家族支援の一環として、事業所で見られた行動や気になる点を職員間で会議を行い、家庭へのフィードバックを実施しております。 ・保護者との面談を実施し、子育ての悩みや相談をしてをります。 ・全児童の保護者に対して、面談の実施を促す連絡を行い、支援機会を確保しております。	連絡帳等を有効活用し、日々の状況をより詳しく共通理解できるよう検討してまいります。
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		参加者が安心して意見を共有できる場を作るため、アットホームな雰囲気大切にしております。また、具体的な事例や実践的なツールを用意し、家庭でも実践しやすい内容に工夫しております。	・ペアレントトレーニングを開催を予定しております。 ・保護者様のニーズも汲み取ったうえで今後の実施を検討させていただきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際や変更があった際に、職員より説明させていただいております。	今後も継続して実施してまいります。また、全職員がより詳しく説明できるよう改めて職員への周知を行ってまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		送迎時や面談時などで意向をお伺いしております。	今後も継続して実施してまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		面談時などで計画を示しながら説明を行っております。	今後も継続して実施してまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		家族面談や帰りの送迎の際に、家庭での困り感などが上がった場合は早急に対応できるよう職員でのミーティングの時間を設けております。	今後も継続して実施してまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		調理やレクリエーションを踏まえて、楽しく参加していただけるよう企画しております。	今後も継続して実施してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・その日の終礼で必ず周知し、職員全員が状況を把握できるようにし、再発防止に向けて職員が意識を高める取り組みを行い、迅速かつ適切な対応を心掛けております。 ・苦情の窓口や、意見箱を設置しております。	今後も継続して実施してまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・アプスク新聞やインスタグラム、HP等で情報発信を行っております。	今後も継続して実施してまいります。
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		書類などは鍵付きのキャビネットで管理しており、写真等も保護者様のご威光をお伺いしたうえで取り扱いしております。	今後も継続して実施してまいります。	
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・ご本人様に伝わりやすい方法を検討し、実施しております。	今後も継続して実施してまいります。	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・系列事業所の地域関係者を招致したもちつきなどのイベントに参加しております。	今後、自事業所でも開催できるよう企画検討してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各マニュアルはデータとして格納され、書類としてもファイリングされており、職員全員がその場所を把握しております。 ・必要に応じて、職員がいつでも確認できるような環境が整備されております。	今後もモニタリングなどの機会を利用して保護者様にも説明を行っていくよう実施してまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・年間を通して、火災訓練を行っております。	想定される災害などに関して行政と確認をしながら今後も対応を検討してまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・保護者様から状況をお伺いし、対応させていただいております。	今後も継続して実施してまいります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・保護者様から食物やアレルギー等談状況をお伺いし、対応させていただいております。	今後も継続して実施してまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	○	・安全計画を作成した職員が、他の職員へしっかりと周知し、全員が計画を共有できるようにしております。 ・契約の際などで保護者様に周知しております。	今後も継続して実施してまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・契約の際などで保護者様に周知しております。	今後も継続して実施してまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットを記入した職員が、他職員へ報告書を提出し、詳細の報告まで確実にしています。 ・報告内容を基に、再発防止策を講じる努力を継続しています。	全職員にヒヤリハットの周知を行い、事故などにつながらないように定期的なミーティングを今後も継続して実施してまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		社内での虐待研修に参加し、適切な対応を行っております。	社内で虐待防止委員会を設置しており、全職員への周知を行ってまいります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・契約の際など、安全面・生存面等を十分理解したうえで保護者様に周知し、記載しております。	今後も継続して実施してまいります。	